

獅子文六 (1893~1969)



小説家。演出家。神奈川県横浜市出身。本名は岩田豊雄。慶応義塾普通部を経て慶應義塾大学予科へ進むが、中退して演劇を志し、大正11(1922)年、フランスへ遊学、帰国後は近代劇の翻訳や演出を手掛けるなどして新劇の発展に尽力した。昭和12(1937)年、久保田万太郎、岸田國士とともに、劇団「文学座」を結成した。

一方、戦前より獅子文六のペンネームで数多くの小説や随筆を執筆。疎開した妻の郷里・北宇和郡岩松町(現、宇和島市)での生活をもとに書いた代表作『てんやわんや』や『大番』、『自由学校』などのユーモア小説や半自伝小説『娘と私』などを発表し、『娘と私』はNHK朝の連続テレビ小説(初代作品)となった。文六の瑞々しい感性、鋭い批評眼で時代の空気を捉えた文章は高く評価され、流行作家として一世を風靡した。

略歴

明治26(1893)年7月1日	神奈川県横浜市弁天通に、貿易商「岩田商店」を営む父・茂穂と母・アサジの長男として生まれる。
大正2(1913)年	慶応義塾大学予科中退
大正11(1922)年3月	演劇研究のためフランスに渡る。パリに滞在し、演劇を学ぶ。
大正14(1925)年8月	帰国
昭和2(1927)年	文藝春秋社経営の新劇協会に入り、初演出をする。
昭和11(1936)年	最初の新聞小説「悦ちゃん」で好評を博す。
昭和12(1937)年	久保田万太郎・岸田國士らとともに、魅力ある現代人の演劇を創造することを目指し、文学座を結成する。
昭和18(1943)年	朝日文化賞受賞
昭和20(1945)年12月	妻・シズ子の郷里・北宇和郡岩松町に疎開
昭和22(1947)年10月	東京に戻る。
昭和23(1948)年11月	毎日新聞に「てんやわんや」を連載し始める。翌年4月まで連載
昭和24(1949)年	新潮社から単行本として『てんやわんや』が刊行される。
昭和25(1950)年	『てんやわんや』が映画化
昭和31(1956)年2月	『週刊朝日』に「大番」を連載し始める。
昭和38(1963)年	日本芸術院賞受賞
昭和44(1969)年	文化勲章受章
12月13日	76歳で永眠

(写真提供：大畑旅館)

〈関連図書〉

- ・獅子文六『獅子文六全集』朝日新聞社 1968年
- ・伊藤整『日本文学全集55 獅子文六』集英社 1981年
- ・足立巻一『現代日本の文学30 獅子文六集岩田豊雄』学習研究社 1982年
- ・『新潮日本文学24 獅子文六集』新潮社 1985年
- ・獅子文六『悦ちゃん』埼玉福祉会 1991~92年
- ・獅子文六『大番』ゼネックス 1997年
- ・獅子文六『てんやわんや』毎日新聞社 1999年
- ・福本信子『獅子文六先生の応接室「文学座」騒動のころ』影書房 2003年

〈主な収蔵資料〉…(P227, 139)

〈ゆかりのある場所〉…(P313, 197~198)